



↑自ら標識を設置し、「いかのおすし」を覚える児童



↑カラー標示施工された道路（鷹巣診療所前）

通学路の安全整備ボランティア 登下校の安全意識向上を

県交通安全施設工事事業協会（鹿児島市・今別府英樹会長）は8月上旬、町内7カ所の小学校付近に交通安全を呼び掛ける「いかのおすし」の標識を設置したほか、鷹巣地区の町道に車のスピードを抑制させるための立体カラー標示を施工しました。

この取り組みは同協会の「子どもを守ろうプロジェクト」の一環として無償で行われ、児童に登下校中の安全意識を促すことが目的です。

平尾小学校（宮ノ前香織校長・79人）では1日の出校日に合わせ、1年生12人が会員らの協力のもと、ハンマーで叩いて標識を設置しました。

二階堂琴羽^{ことば}さんは「いかのおすしを守りたい」と笑顔で話しました。



↑2日間元気いっぱいに学んだ子どもたち

浜漣仁田原地区ほ場整備起工式 実り豊かな農地へ

浜漣集落仁田原地区のほ場整備起工式が8月2日、現地であり、地元住民や県・町関係者ら約50人が出席しました。

これは国の農業競争力強化基盤整備事業で総事業費約4億2千万円、農道・農地合わせて約14.6畝の区画整理が行われます。令和4年度完成予定で、基幹作物のバレイショなどの生産性向上が期待されます。

江口五夫浜漣自治公民館長は「待望していたので感慨深い。働きやすい環境を後世に残せたら」と話しました。



↑工事の安全を祈願する川添町長

ふるさと学び舎 in 長島 助け合いの心学ぶ

7月29日、30日の2日間でふるさと学び舎 in 長島があり、町内小中学校の児童、生徒ら17人が参加しました。

1日目は城川内高齢者クラブとのグラウンド・ゴルフ交流大会や陶芸教室、地域おこし協力隊の甲斐友也隊員との長島の食材を使った手巻き寿司作りを体験。2日目はカヌー体験などがあり、子どもたちは生き生きと活動を楽しんでいました。

平尾中2年の渡柚結^{ゆずゆ}さんは「協力や助け合い、お互いを認め合う気持ちの大切さを学ぶことができた」と充実した様子でした。